

みずほCustomer Desk Report 2019/08/27号(As of 2019/08/26)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	105.10
TKY 9:00AM	104.85	1.1142	116.84	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	106.42	1.1164	118.22	1.2266	0.6707
SYD-NY Low	104.46	1.1094	116.58	1.2285	0.6788
NY 5:00 PM	106.12	1.1099	117.79	1.2208	0.6690
				1.2217	0.6775
NY DOW	25,898.83	269.93	日本2年債	-0.3200	▲2.00bp
NASDAQ	7,853.74	101.97	日本10年債	-0.2800	▲4.00bp
S&P	2,878.38	31.27	米国2年債	1.5412	1.21bp
日経平均	20,261.04	▲449.87	米国5年債	1.4172	0.39bp
TOPIX	1,478.03	▲24.22	米国10年債	1.5376	0.50bp
シカゴ日経先物	20,540	345	独10年債	-0.6655	1.50bp
ロンドンFT	-	-	英10年債	0.5665	8.90bp
DAX	11,658.04	46.53	豪10年債	0.8760	▲9.90bp
ハンセン指数	25,680.33	▲499.00	USDJPY 1M Vol	8.55	0.05%
上海総合	2,863.57	▲33.86	USDJPY 3M Vol	8.05	▲0.09%
NY金	1,537.20	▲0.40	USDJPY 6M Vol	7.75	▲0.06%
WTI	53.64	▲0.53	USDJPY 1M 25RR	-1.91	Yen Call Over
CRB指数	168.91	0.30	EURJPY 3M Vol	8.51	▲0.17%
ドルインデックス	98.04	0.40	EURJPY 6M Vol	8.29	0.01%

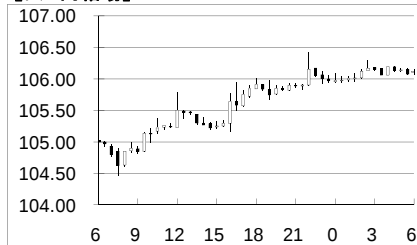
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月26日	14:00	日 景気一致指数・確報	6月 100.4	-
	17:00	独 IFO企業景況感指数	8月 94.3	95.1
	17:00	独 IFO指数(期待/現況)	8月 91.3/97.3	91.8/98.8
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	7月 -0.36	0.00
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	7月 2.1%	1.2%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	7月 -0.4%	0.0%

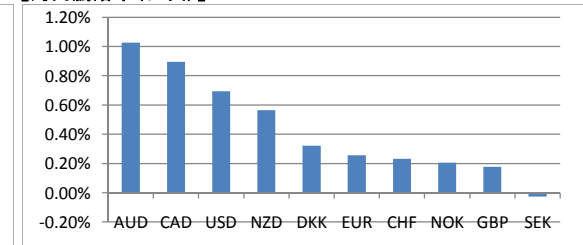
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月27日	11:50	豪 デベル豪中銀副総裁 講演	-	-
	15:00	独 GDP(前期比)・確報	2Q -0.1%	-0.1%
	21:00	英 テンレイロBOE委員 講演	-	-
	23:00	米 コンファレンスボード 消費者信頼感	8月 129.0	135.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.50-107.00	1.1050-1.1200	117.00-118.50

【マーケットインプレッション】

26日のドル円は反発。米中貿易戦争激化への懸念を背景に東京時間朝方104.46円まで下落したドル円は、本邦実需筋の買いに支えられ105円台を回復すると、その後は米中高官発言を材料に値動きの激しい展開に。トランプ大統領が「中国が交渉をしたがっている」と発言するなど、総じて米中交渉の再開が期待される発言が目立ったことから、米株買戻し、米金利が上昇するなど、リスクセンチメントが改善する中、ドル円も買戻しが優勢となり、106円台を回復。本日のドル円相場も、米中貿易交渉への進展期待から、底堅い展開が継続するものと思われる。一方で、昨日同様、米中双方高官からの発言に相場が反応する可能性は否定できず、ヘッドラインリスクには引き続き警戒が必要となろう。

アジア	先週金曜日に中国が米国から輸入する約750億ドル相当の製品に対して5-10%の追加関税を課すと発表し、米国も中国に対して追加関税を課することが表明されたことで本日早朝もリスクオフの流れが継続。ドル円はオセアニア時間に105円を割れると104.46円まで大幅下落。しかし反発し、104.85レベルで東京時間オープン。104円台での実需の買いフローが意識される中、ドル円はじりじりと底堅い展開となり、105.79円まで上昇。しかしその後は上値を試す展開とはならず、105円台前半での推移となり、105.30レベルで海外に渡った。
ロンドン	休場
ニューヨーク	海外で薄商いの時間に、米中貿易摩擦悪化懸念からドル円は104.46まで下落したが、トランプ大統領が中国から貿易交渉を再開したいと連絡があったと話したこと(後に中国側が否定)一気にドルが買い戻され、106円ちょうどまで戻し、105.89レベルでNYオープン。NY朝方は米7月耐久財受注ヘッドラインが予想を上回る一方、除輸送用機器が予想を下回り、強弱混在の結果にドル円の反応は限定的となるが、その後は新しいニュースが見当たらない中、106円を上抜けると短期的なストップを巻き込み、高値106.42まで急伸する。戻り売りに一旦反落するものの、G7中にトランプ大統領の中国に対する姿勢がやや軟化したことから、ドル円はその後106.10付近での底堅い推移が続き、106.12レベルでクロスした。一方、ロンドン市場が休場で取引が薄い中、前述のトランプ大統領の発言を受けたドル買戻しに、海外市場のユーロドルは1.1110まで下落し、1.1116レベルでNYオープン。NY朝方はロンドン休場ということもあり、狭いレンジでの推移が続く。NY午後はややドル買いが優勢となり、ユーロドルは1.1094まで下落し、1.1099レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 伊藤・田家